

第3回ワークショップ(最終回)を開催しました！

平成27年2月18日、第3回のワークショップ(以下、「WS」)を2町内の住民の方々に参加いただき、実施しました。

WSでは、これまでのプログラム実施の成果を確認するとともに、「災害によって大きな被害が生じてしまった」と仮定した上で、どのようなまちに復興させたらよいか、そのまちの姿を描く『復興まちづくり提案』の案を、4つのグループに分かれて話し合い、グループ発表を行って、住民のみなさんの思いや意見を共有しました。

最後に、参加者の皆さんから、感想や今後の取り組みに対するお考えをお聞きするなど、WSを総括し、幕を閉じました。

開催日時：平成27年2月18日(水)
19時～21時

開催場所：有東坂今泉一区自治会館

当日のプログラム

1. ワークショップのふり返り
2. 資料説明
 - ①第2回の成果の確認
 - ②復興まちづくり提案(案)について
3. グループワーク
 - ①復興まちづくり提案(案)について
 - ②発表(意見の共有)
4. ワークショップの総括

『復興まちづくり提案(案)』の概要

☆拠点づくり

- 地区防災拠点**：公園と公共施設などで構成する、災害時の避難場所、災害対応拠点
- 防災街区拠点**：一時的な避難場所、災害時の応急・救急対応の拠点となる公園(自治会館併設の箇所もあり)

☆道路づくり

- 主要防災道路**：緊急輸送にも対応した地域の主軸となる道路(道幅20m)
- 地区防災道路**：緊急車両の通行や避難経路の役割を担う骨格となる道路(道幅10m)
- 補助防災道路**：各防災街区内と主要・地区防災道路をつなぐ道路(道幅6m)

☆防災街区のまちづくり

- 防災街区**：主要・地区防災道路で囲まれた街区
- ＜防災街区内で実施すること＞
- ・倒れない・燃えにくい住宅への再建
 - ・各防災道路につなぐ最低道幅4mの道路整備
 - ・道路用地などを確保するために所有する敷地の利用ができなくなった方や、住宅再建が困難な方向けの共同住宅の建設

☆地域のコミュニティづくり

- ・自治会への加入促進など、地域コミュニティの強化
- ・手助けが必要な方に関わる情報の共有化

災害を繰り返さない被災前より安全で、快適なまちへ

『万が一』に備えたまちづくりへ！

3回にわたるWSを通じ、「災害によって大きな被害が生じた」と仮定し、スムーズな復興を実現するための手順を体験していただきました。

参加いただいた住民の皆さんからは、「新たなメンバーも加えながら、WSの体制を拡充・発展させたい」という多くの声があがりました。

このWSでの体験を、地域ぐるみでの安全で快適なまちづくりに是非つなげてください。

